

ひやく ほんとう けんと さい 百八灯献燈祭

ともに願いの灯りを
おまつりしましょう

百八灯献燈祭は江戸時代より

三百年以上続く神事です。

自身の名前を記したろうそくに

清らかな火を灯すことで、

古くは百八つの煩惱を

消し去り健やかに

過ごせるとされてきました。

一年に一度だけ灯される

三百余りの御神火は、

一切の災いやけがれを浄化します。

ただひたすらに大神さまへ、

心に強く想う願いの

一願成就を祈ることで、

白山さまの清らかな御力は

明るく幸福な未来へと

導いてくださるでしょう。

令和8年
4月17日 [金]
午後6時
申込締切4月1日(水)
当日は、社務所へお越しください。

新潟縣頸守
白山神社



おさがりの ろうそくを選べます

祭典後に芳名ろうそくか桜ろうそくをお持ち帰り頂けます。
裏面申込書の「受け取るろうそく」欄にて、お選びください。

桜ろうそくは百八灯祭のろうそくを再利用した、リサイクルろうそくです。過去の芳名ろうそくをお持ちいただいた方には、1本につき桜ろうそくを1個お渡します。
(交換の受入れは8月31日まで)



芳名ろうそく



桜ろうそく



百八灯献燈祭 参加申込みのお願い

百八灯祭は江戸時代より300年以上続く伝統ある神事です。古くより、火は災いをはらい清め、ろうそくは暗闇を照らし夕宵の中で神事を行なうために欠かせないものでした。春まつりで賑わう4月17日の夕宵、皆様のお名前を記し、願いを託した300余りのろうそくを神前に飾り、一斉に火を灯します。一年に一度だけ灯される御神火は厳かな神前を幻想的に照らし、一切の災いやけがれを浄化しながら燃えていきます。災いやけがれがはらわれ、清々しい心でろうそくに御神火を灯し、ただひたすら一心に願う。願いを託したろうそくの火が燃える中、商売繁昌・家内安全・心願成就・災厄消除をはじめ、心に一番強く想う様々な願いの一願成就を祈りましょう。白山さまの清らかな御力により明るく幸福な未来への導きを願う、百八灯献燈祭のお申込みをお願い申し上げます。

申込方法

本紙下部の申込書に必要事項をご記入いただき、「受取るろうそく」の欄にて「芳名ろうそく」、「桜ろうそく」のどちらかに○をつけてください。

受け取るろうそくについて

- ❖「芳名ろうそく」を希望の方は、祭典当日か8月31日迄に神社にて直接お受け取りください。
- ❖「桜ろうそく」を希望の方は、祭典当日受付にてお渡しします。当日欠席の方には後日郵送いたします。

同封の返信用封筒又はFAXにて、4月1日(水)必着でお申込みください。

※当日参列になれない方のろうそくには、代わりに神職・巫女が火を灯させていただきます。

入金方法

1.現金にてご入金

事前に神社受付にてご入金又は祭典当日に受付にてご入金

2.振込用紙にてご入金

献燈料は 一燈／6,000円 ※白山会館工事中につき、直会はありません。

芳名ろうそく図



当日の流れ

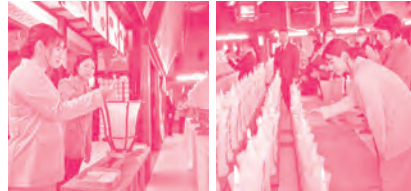
受付(社務所) → おはらい(白山神社本殿) → ろうそくに火を灯します。 → 以上で百八灯献燈祭は終了となります。



社務所にて受付を致します。お時間まで待合室にてお待ちいただきます。桜ろうそくの持ち帰りを選んだ方にはこの時お渡しします。



神主の案内後、白山神社本殿にておはらい(ご祈祷)を受けて頂きます。



神主が説明を致しますので、それぞれ御神火をご自分のろうそくに灯し、願いを託して頂きます。

※ろうそくをお持ち帰りになる方は、お近くの神主や巫女にお声掛けください。



キリトリ線

百八灯献燈祭 申込書

ふりがな			
住所	〒		
ふりがな	TEL	()	
氏名		-	
ふりがな	受取るろうそくを選び○をつけてください。		
ろうそく名前に書く名前	※申込の氏名と同じ場合は書かなくて結構です。 芳名ろうそく (当日もしくは後日受取り) 桜ろうそく (当日受取りもしくは後日郵送)		

※ろうそくに書く名前は、ご芳名のみとさせていただきます。

献燈料

一燈／6,000円
(燈分申込み)

ご入金方法

(1か2のいずれかに○印をお付けください。)

- 現金(事前・当日)
- 振込(振込日 月 日頃)